

【三ヶ島地区の新たな交通手段 来年4月より実証運行】

所 沢市における各地域の交通弱者等に対する円滑な交通手段の確保および利便性を向上させるための対策については、所沢市地域公共交通会議等により地域公共交通の方向性や具体的な施策の検討が重ねられてきたところです。

令和3年4月から三ヶ島地区において新たな交通手段（乗合ワゴン）の実証運行を開始するため、初年度の運行補償料に相当する債務負担行為（限度額2361万円）として、運行経費（2531万円）から運賃収入（170万円）を差し引いた見込額が設定されました。

〔(仮称)乗合ワゴン運行事業の概要〕

- ・運行形態：循環型・定時定路線（1方向のみ）
- ・運行便数：10～12便／日（年末年始を除く毎日）
- ・路線：いずれも狭山ヶ丘駅を起終点とする林・糞谷ルートと若狭・三ヶ島ルートの2路線（所要時間50～60分）
- ・定員：7名＋車椅子1名
- ・運賃：200円の定額制（高齢者・障害者への割引は検討中）

※初年度の1年間は乗合ワゴンと既存のところバスが並行して運行されますが、その後ところバスの重複する路線については運行が取り止めとなる予定になっています。



所沢市議会議員【無所属】

おぎ の やす お
荻野 泰男

市政レポート Vol.78

（納得できる所沢市政を！！） Nov, 2020

Ogino Yasuo Tokorozawa Shisei Report



（となりのトトロ記念碑が所沢駅東口に設置）

令 和2年所沢市議会第3回定例会は9月1日から9月23日まで開催され、所沢市一般会計補正予算をはじめとする市長提出議案がいずれも全会一致で原案のとおり可決されました。

主な議案の内容としては、「となりのトトロ」記念碑設置事業、避難所感染症対策用品整備事業、市営自転車駐車場定期利用者支援事業、（仮称）乗合ワゴン運行事業、小・中学校修学旅行等のキャンセル料等支援事業、地域医療を維持するための感染症対策支援事業などに係る補正予算が計上されたほか、所沢市行政組織条例の一部改正（所掌事務の変更）、（仮称）第2一般廃棄物最終処分場用地の取得（南永井地内）などの議案が提出されました。

令和元年度各会計決算については、10月開催の決算特別委員会において審査が行われ、12月定例会中の本会議において採決される予定です。

【主な議案（一般会計補正予算等）の概要について】

1. 「となりのトトロ」記念碑設置事業 （事業費総額 825万円）

●市制施行70周年の節目である記念すべき年に、映画「となりのトトロ」のキャラクター（トトロ・ネコバス・さつき・メイ）を記念碑として本市の玄関口である西武鉄道所沢駅東口ロータリーに設置し、「所沢市がトトロの生まれたところ」であることを来訪者にPRするものです。設置の時期は本年11月の予定となっています。

●〔となりのトトロ 記念碑設置委託の概要〕

- ・内容：原画デザイン、鋳造、銘板、ベース制作、輸送、設置工事
- ・委託先：スタジオジブリの取引先である株式会社ムービック・プロモートサービス（東京都千代田区）

※所沢駅における「トトロ」像の設置については、私もかつて一般質問で取り上げた経緯があります。



© 1988 Studio Ghibli

【所沢市でも乳児用液体ミルクの備蓄へ】

昨年3月より国内メーカーによる乳児用液体ミルクの製造販売が開始されたことを受け、同年6月定例会の一般質問において、私は液体ミルクの普及と備蓄について取り上げました。液体ミルクには調乳用のお湯が不要であり、開封して哺乳瓶に移すだけで常温ですぐに乳児に飲ませることができるという利点があることから、災害時にも有効です。今定例会でのある議員の質問に対し、危機管理監から「避難所でも早急に授乳が可能となるよう、今年度中の備蓄開始に向け、準備を始めている」との答弁がありました。



所沢市議会 12月定例会の予定

11月30日(月)～
12月23日(水)

※正式な会期日程は、
11月24日(火)に
決定いたします。

【プロフィール】

- 1970（昭和45）年2月3日、所沢市生まれ。
- 1993年、早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。
- 社会保険労務士・ファイナンシャルプランナー（CFP認定者）・防災士。
- 2019年4月、所沢市議会議員選挙にて当選（連続4期）。
- 市議会議長（第64代）、市議会副議長、市監査委員（議員選出）などを歴任。
- 現在、建設環境常任委員会委員、議会改革に関する特別委員会委員。
- 所沢明生病院地域評議員・日本防災士会地方議員連絡会会員。



ご意見・お問い合わせ等 090-8115-3715
【Homepage】 www.oginoyasuo.com
【E-mail】 tokorozawa@oginoyasuo.com

●編集・発行／荻野泰男事務所 〒359-1166 所沢市糞谷1746-1

2. 避難所感染症対策用品整備事業

(事業費総額 1億77万6千円)

●避難所における新型コロナウイルス感染症対策を行うため、マスク、アルコール手指消毒液、体温計、フェイスシールド、パーテーションルーム、ダンボールベッド、ジョイントマット、エアートント、蓄電池、ソーラーシート、サーモグラフィ等の感染症対策に必要な物品を各避難所に備蓄するものです。

●なお、この事業の実施に当たっては国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用する予定です。



3. 市営自転車駐車場定期利用者支援事業

(事業費総額 2174万9千円)

●新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛要請等による影響を受け、休校、休業、失業等により市営自転車駐車場を利用しなかった定期契約者に対して支援を行うものです。

●[実施概要]

- ・対象月：令和2年4月および5月
- ・対象者：新型コロナウイルスの影響による休校、休業、失業等の理由で、対象月に市営自転車駐車場を一度も利用しなかった定期契約者
- ・内容：市営自転車駐車場の利用期間を延長(最長2か月)。

4. 小・中学校修学旅行等のキャンセル料等支援事業

(事業費総額 1731万3千円)

●新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの市内小・中学校においては、今年度実施予定の修学旅行・林間学校を中止または延期せざるを得ない状況となっています。

●修学旅行等は各学校において旅行業者と契約していますが、その費用は保護者が負担しています。そのため、保護者の責めによらず修学旅行等が中止・延期されたことに伴い発生するキャンセル料について、保護者の経済的な負担軽減を図るため、相当額分を各学校に支給するものです。



5. 地域医療を維持するための感染症対策支援事業

(事業費総額 800万円)

●新型コロナウイルス感染症の集団感染が発生した3病院は救急患者の受入れ、地域包括ケア病棟の設置などの役割を担う地域に根差した医療機関であり、また、所沢市医師会はPCR検査センターの設置、発熱外来の実施をはじめ、市民への積極的な支援を実施しているところ。

●この事業は、新型コロナウイルス感染症対策の強化とともに、市民が安心して医療を受けられる体制を維持するため、1機関当たり200万円の支援を行うものです。



荻野泰男 の 一般質問 (9月11日) から



21番 荻野泰男 議員

行政改革の不断の推進を！

Q.

今年度から行政改革大綱が策定されなくなった。今後、所沢市としてどのように行政改革に取り組み、その成果を市民に対して伝えていくのか、また、新たに入庁する職員等に対しては、行革への取り組み姿勢やノウハウなどをどのように継承していくのか？



A.

全ての分野において総合計画の進捗管理の中で改革改善を行い、行政評価の中で成果を市民に伝えていきたい。業務の改善は終わりなきものであり、分かりやすい発信にも努めたい。新規の職員への継承については、職員行動ガイドラインに基づき、職員一人ひとりの考え方・行動のあり方を浸透させ、改革改善の好事例を共有し、組織としての熟成を図っていきたい。

自転車損害保険への加入促進を！

Q.

すでに「埼玉県自転車の安全な利用の促進に関する条例」に基づき、自転車利用者・事業者等が自転車損害保険等に参加することが義務づけられているところだが、市民や事業者等の保険加入をさらに促進するため、市として取り組みを強化すべきではないか？



A.

自転車事故は誰でも当事者となり得るばかりか、近年は高額賠償請求事例が全国各地で発生している。万が一自転車事故が発生した場合、被害に遭われた方の救済を確保するため、自転車損害保険へのさらなる加入促進は必要であると考えている。今後も県の取り組みを参考にしながら、引き続き加入率向上につながるよう広く啓発活動に努めていく。

医療センターでオンライン面会の実施を！

Q.

新型コロナウイルス感染防止のため、面会が制限されている期間中の対応として、タブレット型端末等を活用して入院患者さんとご家族等が顔を見ながら会話できる「オンライン面会」を実施している医療機関等も増えている。市民医療センターにおいては、実施を検討しているのか？

A.

市民医療センターにおける「オンライン面会」の実施については準備を進めており、間もなく導入の予定である。インターネット接続が可能なタブレット端末をセンターで準備し、貸し出しする方法を考えており、利用するアプリケーションソフトはLINEやZOOMなどを予定している。



著名な建築家の作品を観光資源に！

Q.

隈研吾氏の設計によるところざわサクラタウンのオープンを機に、建築・設計に携わる人々からも所沢の街が注目されつつある。著名な建築家の設計による建築物等に関する情報をさまざまな手法で効果的に発信するなど、観光資源としてさらに活用することはできないか？



A.

ところざわサクラタウンのオープンはさまざまな観光資源を建築という面で掘り下げていく良い機会であると市としても考えている。現在建築物に関する情報も観光情報の一つとして発信していくことについて検討しているところである。

※今回の一般質問では、その他に法務体制の強化、地域づくりガイドラインの策定、市立図書館の非来館型サービス、上下水道局でのフードドライブ活動などについても取り上げました。

※右のQRコードから議会中継のサイトにアクセスされたと、荻野泰男の一般質問の動画をご覧いただけます。

